

# TANGOPHORIA



魂を揺さぶるタンゴの名曲・あふれ出す愛と情熱の響き

**クリスチャン・リンドバーグ来日25周年特別企画**

クリスチャン・リンドバーグ (トロンボーン)    ローランド・ペンティネン (ピアノ)    イェンス・ルンドベリ (バンドネオン)

# タンゴフォリア

ファン・カルロス・コビアン 私の隠れ家  
 アニバル・トロイロ 最後の酔い  
 スール (南)  
 マレーナ  
 ルシオ・デマレ  
 カルロス・ガルデル ポルベール (帰郷)  
 アストール・ピアソラ ブエノスアイレスの春  
 ブエノスアイレスの夏  
 ブエノスアイレスの秋  
 ブエノスアイレスの冬  
 天使のミロンガ  
 アディオス・ノニーノ  
 リベルタンゴ  
 (順不同)

2016.11.19. Sat. (18:30 open) 19:00 start  
ザ・シンフォニーホール

全席指定 (税込)	一般 ¥5000	特別限定席 ¥1000 [50席限定!] ★お席は客席両端部になります。 ★プロアルテムジケのみ取り扱いです。 ★他のお席への変更はできません。
	学生 ¥3500	

チケット販売

プロアルテムジケ 03-3943-6677 www.proarte.co.jp  
 ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 www.symphonihall.jp  
 チケットぴあ 0570-02-9999 t.pia.jp [Pコード ▶ 296-777]  
 イープラス eplus.jp  
 ローソンチケット 0570-084-005 l-tike.com [Lコード ▶ 57209]

プロアルテ会員先行販売	5/19~6/5	6/6一般発売
Sinfonia 会員先行販売		

○やむを得ない事情により、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

○未就学児童のご入場はご遠慮いただいております。

TANGOPHORIA  
in OSAKA PROGRAM

主催：プロアルテムジケ／ザ・シンフォニーホール

お問い合わせ

プロアルテムジケ 03(3943)6677  
www.proarte.co.jp info@proarte.co.jp

## クリスチャン・リンドバーグ (トロンボーン) Christian Lindberg, trombone

「トロンボーンのパガニーニ」の異名を持つ天才ソリスト！  
常識を遥かに超える超絶技巧を難無くこなし、  
刺激的なパフォーマンスで常に高い芸術表現に挑む  
スーパーエンターテイナー！！

1958年スウェーデン生まれ。17歳でトロンボーンを始め、2年後早くもストックホルム王立音楽大学に入学。同時にストックホルム王立歌劇場管弦楽団に入団するが、ソロ奏者になるべく、英国王立音楽大学に留学。弱冠25歳でストックホルム・フィルと協演し、ソロデビュー。以降、ワルシャワ・フィル、スウェーデン放送響ほかの著名オーケストラと協演し、世界各国でその卓越した技術と深い音楽性をアピール。数々のコンクールに優勝し、権威ある「フランク・マルタンコンペティション」では優勝のほかにもマリア・マルタン賞も受賞する。

常に意欲的にレパートリーを開拓し、オリジナル曲から大曲のアレンジ、現代作曲家からの献呈作品まで莫大な数にのぼるが、どんな大作であろうと常に暗譜で演奏に臨んでいる。また、自国の作曲家ヤン・サンドストレムとの綿密な計画により完成された《オートバイ小旅行》《ドン・キホーテ》はセンセーショナルな話題を巻き起こし、世界各国で度々演奏されている。その華々しい活躍はテレビ、ラジオ出演、コンサート、CD、そして金管楽器奏者としては初めてのLDリリースと破竹の勢い。1992年にはヨーロッパ合同4社放送局が、日本を含む世界各国でのコンサートツアーに同行して制作したドキュメンタリー番組が、ユーロビジョンでヨーロッパ各国で放映された。1994年にはイギリスBBC「ザ・クラシカル・ミュージカル賞」を指揮者のクラウディオ・アバド、チェロのヨーヨー・マなど世界のトップアーティスト達と共に受賞する。日本でも1991年から度々リサイタルを行うほか、読響、新日フィル、日フィル、都響、紀尾井シンフォニエッタ、アンサンブル金沢などとの協演で注目されている。

これまでにベルリン・フィル、シカゴ響、BBC響など一流オーケストラと共演し、ルイ・アームストロング、マイルス・デイヴィス、デニス・ブレイン、モーリス・アンドレと共に20世紀最も偉大な管楽器奏者に選ばれた。またPodre de Pallabreでは、リンドバーグを、クライスラー、ルービンシュタイン、ロストロポーヴィチ、オイストラフ、ゴールウェイらと並び、クラシック音楽の最も偉大な代弁者として挙げている。スペインのヴァレンシアでは、彼の名前を冠したクリスチャン・リンドバーグ国際トロンボーン・コンクールも開催されている。ロンドンの英国王立音楽大学ではプリンス・コンソート名誉教授の称号を与えられ、2005年にはスウェーデン国王より権威ある勲章「Litteris et Artibus」を授与された。これまでにベリオ、クセナキス、武満徹、タネジなどから80を越える作品を献呈されており、300を越える作品の初演を行っている。

70枚を超えるCDをBIS、EMI、Decca、ドイツ・グラモフォン、ECMなどからリリース。トロンボーンをソロ楽器として確立させた業績に加え、近年では指揮者、作曲家としての活動に意欲的に取り組んでいる。

2009年ノルウェー・アーケティック・フィルの首席指揮者に就任。(2004-2011年、ノルディック管、2005-2012年スウェーデン・ウィンド・アンサンブルの首席指揮者を務める。)このオーケストラと2017年には、BISの企画によるチャイコフスキーの交響曲第4番～第6番を録音、日本ツアー、またウィーン楽友協会、ボン・ベートーヴェン音楽祭、ザルツブルク祝祭大劇場で演奏予定。

また作曲家としては、1997～1998年に《(トロンボーンと弦楽器のための)Arabenne》を自身で初めて作曲した。シカゴ響、ロッテルダム・フィル、スコットランド室内管、スウェーデン室内管などが委嘱した作品の数は50を超える。

<http://www.tarrodi.se/cl/>

## ローランド・ペンティネン (ピアノ) Roland Pöntinen, piano

1981年にロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団との共演でデビュー、それ以来、世界中の数々のメジャーオーケストラとの共演を果たす。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、ヴェルビエ、ラ・ロック・ダンテオンなど著名な音楽祭に招かれ、E.P. サロネン、R. フリュベック・デ・ブルゴス、E. スヴェトラノフ、L. セーゲルスタムなどの指揮者と共演。抜群のテクニックでバッハからリゲティに至る幅広いレパートリーを網羅している。

近年ではベートーヴェン「ピアノソナタ全曲演奏会」、リスト「巡礼の年(全曲)」の演奏など大きなプロジェクトにも取り組んだ。またS.E. ベック、V.M. プーマラ、A. エリアソンなど多くの作曲家が彼に曲を献呈した。室内楽奏者としても定評があり、B. ヘンドリックス(sop)、J. ヤンセン(vn)、今井信子(va)、M. フレスト(cl)、Z. ザイトリン(vn)、T. テデー(vc)、H. ハーデンベルガー(tp)、A. テレフセン(vn)、C. リンドバーグ(tb)、N. ゲッダ(ten)などの有名な演奏家との共演も多い。

今シーズンは、日本、台湾、イングランド、オランダでのツアー、サカリ・オラモ指揮ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団との共演を予定。

スウェーデン王立音楽アカデミーのメンバー。2001年にはスウェーデン王室より“Litteris et Artibus”(文化功労賞)を授与された。

<http://www.rolandpontinen.com>

## イエンス・ルンドベリ (バンドネオン) Jens Lundberg, Bandneon

ストックホルム生まれ。パリのエドガー・ヴァレーズ音楽院でアルゼンチンのバンドネオン奏者ホアン・ホセ・モサリーニに師事し、ディプロマを取得する。巨匠ネストル・マルコーニ、ワルテル・リオス、ペル・アルネ・グローヴィゲンに師事する。2012年には、スウェーデンの有名なギター&アコーディオンのメーカーであるアルビン・ハグストロム社記念賞を受賞。マルメ歌劇場の製作にも携わってムシカ・ヴァイテ室内管弦楽団、モンテヴィデオ・タンゴ・カルテットと共演。トリオ・バンド・アルコ、ストックホルム・タンゴ・デュオ、トリオ・トレメンディッシモ、デュオ・ドス・フエジェスのメンバーとしても頻繁に活躍している。

<http://jenslundberg.com/>

